

会 議 録

| | |
|-------|---|
| 会議の名称 | 令和6年度第1回小金井みんなの給食委員会会議録 |
| 事務局 | 学校教育部 学務課 |
| 開催日時 | 令和6年5月27日(月)午後3時30分～午後4時21分 |
| 開催場所 | 小金井市役所西庁舎 第五会議室 |
| 出席委員 | 菅野委員、大橋委員、渡邊委員、佐藤歩委員、齊藤委員、谷合委員、田原委員、松田委員、門目委員、立岩委員、植田委員、森戸委員、金川委員 |
| 欠席委員 | 佐藤俊哉委員 |
| 傍聴者 | 2人 |
| 会議次第 | (1)会長及び副会長の選出について (2)教育委員会からの報告 (3)今年度の活動内容について (4)その他 (5)次回の開催について |
| 主な意見等 | (1)会長及び副会長の選出について (事務局) 要綱第5条で委員の互選によることとなっている。会長に立候補あるいは推薦はあるか。 (委員) 昨年に引き続き立候補する。 (事務局) ほかに立候補又は推薦はあるか。 —なし— (事務局) ただいま、佐藤委員から会長の立候補があったが、会長に決定することに異議はないか。 —異議なし— (事務局) 異議がないため、佐藤委員を会長に選任させていただく。 |

(会長)

昨年度も会長を務めたが、引き続きよろしくお願ひしたい。
続いて、副会長の選任を行いたい。副会長へ立候補あるいは推薦はあるか。

(委員)

昨年度も出席していたので、副会長に立候補したい。

(会長)

ほかにはいないか。

—なし—

(会長)

ほかにはいないようなので、お諮りしたい。齊藤委員を副会長とすることに異議はないか。

—異議なし—

(会長)

異議なしと認め、齊藤委員を副会長に選任させていただく。

(2)教育委員会からの報告

(学務課長)

報告事項は3点ある。1点目は、令和6年4月から小金井第一小学校の給食調理業務の委託が開始された。受託会社は小金井第二中学校及び東中学校も受託している一富士フードサービス株式会社である。

2点目は、学校給食調理業務の委託化に伴い、学校給食調理業務の第三者評価を今年度から開始する。具体的には、辻調理師専門学校 東京の先生に評価員を依頼し、今年度は直営校1校、委託校1校の計2校で実施する予定である。

3点目は、令和8年度から本町小学校及び東小学校の給食調理業務の委託に向けた説明会を、令和6年2月に3回実施した。委託については、いままでどおり、「調理業務だけを委託すること」「自校方式のままであること」「献立や食材調達は、引き続き、市の栄養士が行うこと」を基本としております。詳細は市ホームページを確認いただきたい。

(委員)

第三者評価について、いつ頃どんな方が行うのか。

(事務局)

今年度は9月と10月に小学校・中学校各1校で実施予定である。評価員は辻調理師専門学校 東京の先生を予定している。

(委員)

評価項目はどのように考えているのか。

(事務局)

現在評価員と調整中である。

(委員)

給食の調理について、詳しいのか。

(事務局)

給食については、評価員からも既に塩分濃度や切り方などについて、既にご質問をいただいております。基本的な考え方を理解していただいた上で、適切な評価を継続的に進めたいと考えています。

(会長)

学校給食の専門家ではない調理の専門家の視点が入ることは意味があることだと思う。

(3)今年度の活動内容について

(事務局)

昨年度の申送り事項として挙がっていた、給食の試食、農家見学、講演会の開催に加え、第三者評価の報告の実施について、検討をお願いしたい。

まず、給食の試食についてであるが、昨年度は緑中学校で実施しており、今年度は可能であれば給食食材を納入いただいている農家の方に加え、受け入れ可能校と調整していきたい。なお、感染症の状況などで実施できない場合もあるため、予めご理解いただきたい。

また、試食会があった場合、試食後に会議を開催する予定としたい。日程については、今後調整させていただく。

(会長)

意見はないか。

—なし—

(事務局)

続いて農家見学であるが、昨年度は梶野町にある土屋農園さんの見学を試食会と同日に行った。日程等については、先方の都合もあるので、栄養士会会長の齊藤副会長に調整をお願いしたい。日程が決まったら、別途連絡する。

(会長)

意見はないか。

—なし—

(事務局)

講演会については、昨年度は11月に農家の萩原さんを講師にお迎えして講演会を開催した。当日は38名の参加があり、好評をいただいた。

今年度どのようなものを開催するかここで検討することになるが、今年度は新たに第三者評価の報告を実施させていただきたいと考えている。

学校給食調理業務の第三者評価の結果は、評価員の方に本会の会議の場に直接お越しいただき、毎年度結果を説明いただくと考えている。辻調理師専門学校 東京の先生からお話いただく貴重な機会であるため、講演会のような形で広く市民の方々にも周知し、多くの方に給食調理の実態を知ってい

ただ機会にしていきたいと考えている。

そこで提案であるが、今年度は本会で検討する講演会に代えて、新たに行う第三者評価の報告会を実施させていただきたいと考えている。

(会長)

意見はないか。

(委員)

第三者の評価の話と、そのほかに辻調理師専門学校 東京の先生からのお話があるということか。単なる評価結果の報告だけだと関心をもたれないのではないか。

(事務局)

実際話す内容は評価員のお考えもあると思うが、専門学校の先生ということで皆様に関心をもつていただくようなお話をさせていただけると思う。現時点で写真を使うことも考えていらっしゃるようで、評価結果だけでなく、給食について広く知っていただくきっかけにも繋がるのではないかと思う。

(委員)

報告の時期は11月頃になるのか。

(事務局)

評価員による部分があるため、時期は未定であるが、今年度中に報告は行いたい。

(委員)

評価員の名前を知りたい。

(事務局)

正式な依頼をこれから行うため、次回会議で報告したい。

(会長)

前もって、こちらが示したテーマに沿ったお話をお願いすることは可能か。

(事務局)

報告はあくまでも第三者による評価報告となるので、これにこちらの要望を絡めることは難しいと思うが、質問する機会に皆さんのご意見を伝えることはできると思う。またこちらが示したテーマについて触れていただくことについて、評価員に予め聞いてみることはできると思う。

(委員)

給食とは何か、給食の評価とは何か、評価の報告とは何か、という話かと思う。市民として、どういう視点でこの話を聞いたらよいか。これは他の自治体でも行っている試みなのか。

(事務局)

調べた限りでは、調理のプロの方が学校給食を評価するのは、あまり他市で例をみない取組だと思う。評価を通して給食調理について知ってもらう機会だと考える。

(委員)

そういった部分をPRしていくべきだと思う。

(委員)

保護者や市民が聞きたい話を聞く、橋渡しとなるような機会があると良いと思う。

(会長)

評価とはまた別に辻調理師専門学校 東京の先生からお話があるということか。

(事務局)

あくまでも評価の報告が中心となる。

(委員)

一般の市民も入れるイメージか。

(事務局)

会場もこの会場よりも大きな場所で、市民の方も入れるようなところにしたいと考えている。周知も講演会と同程度を考えたいと思っている。

(会長)

今までと違う視点で話してもらうのも良いかと思う。今の段階で内容が確定している訳ではないということか。

(事務局)

触れてもらいたい事があれば、評価員に伝えることは可能である。

(委員)

その人のバックグラウンドが見えないと、質問も見えてこない。

(事務局)

次の会議で報告できると思う。

(会長)

それを考える機会はあるということで、新しい取組であるので、次回ご意見を伺えればと思う。

(4)その他

(委員)

P F A S の件で、市内農家さんが井戸水を使っている方もいると聞いており、学校給食の地産地消を進めるべきなのか、疑問がある。本来は市で検査をしてもらいたいが、難しいとは思っているので、今後民間での実施も検討したいと考えている。

(会長)

P F A S と学校給食の関係を話し合う場ではないかと思うが、事務局で何かお伝えできることはあるか。

(事務局)

主に J A から地場野菜を仕入れており、農家さんのお名前を全て把握している訳ではない。現時点で特に情報はもっておらず、経済課と情報も共有しながら、今後何かあればお伝えしていきたい。

| | |
|-------|--|
| | (5)次回の開催について (事務局) 次回の開催日程は未定、決まり次第連絡する。 |
| 決定事項 | (1)会長：佐藤歩委員、副会長：齊藤委員 (3)今年度の活動内容 ア 給食の試食 イ 農家見学 ウ 第三者評価の報告 |
| 次回の開催 | 未定 |